

[補助要件]

- ・ 院内感染対応期間以外で、新型コロナウイルス感染症患者の入院受入を行った実績があること。
※実績がない場合は、院内感染収束後、積極的に外部から新型コロナウイルス感染症患者を受け入れることを補助要件とします。
- ・ 医療機関等情報支援システム（G-MIS）に新型コロナウイルス感染症患者の入院受入状況等を確実に入力していること。

[補助対象となる病床]

- ① 院内感染の発生により、**陽性患者**が入院した病床であり、当該患者が退院した後に病室の閉鎖などの事情により一定期間、空床にする必要がある病床
- ② 院内感染の発生により、病棟を閉鎖したなどの事情により、休止せざるを得ない病床
(②の補助上限は、①の病床に対して、**1床**（①がICU/HCU病床の場合は**2床**）までとし、①に陽性患者が入院中から算定可能)

[補助上限単価（円/日）]（特定機能病院等以外の病院の場合）

ICU	121,000
HCU	85,000
重症・中等症患者等対応可能病床※	29,000
その他病床（療養病床含）	16,000

※重症・中等症患者等対応可能病床とは

新型コロナの陽性者であり、中等症Ⅱ・重症患者、特別な配慮が必要な患者（*1）及び医師の判断で特に高いリスクが認められる患者（*2）を受け入れる病床を指します。

*1 妊産婦、小児、障害児者、認知症患者、がん患者・透析患者、精神疾患を有する患者、外国人等

*2 呼吸困難で肺炎像がみられ、食事や水分の摂取ができず、点滴治療を要する患者であって、中等症Ⅱへの悪化が懸念される緊急性が高い患者等

（「新型コロナウイルス感染症の令和5年10月以降の医療提供体制の移行及び公費支援の具体的内容について」令和5年9月15日厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策本部事務連絡参照）

[補助対象となる期間]

院内感染が発生した日から、最後の陽性者がコロナ療養解除となった日（上限）までの期間

[注意事項]

- ・ **10月1日以降、施設要件や看護体制の要件はありません。**
- ・ **診療報酬が発生している病床は補助対象外です。**
例えば患者1名が昼で退院した場合など、その日、診療報酬が発生している病床は補助対象となりません。
- ・ **休止病床数の補助上限は、あくまで上限です。**
例えばある1日における休止病床の補助上限が12床のときであっても、実際の休止が10床であれば、12床ではなく、10床が補助対象です。

[補助対象範囲の例]

☆1 県から新型コロナ病床の確保依頼を受けている医療機関 (段階Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの期間)

※特定機能病院で該当する場合は、別途ご相談ください。

(1) 病床を確保している病棟とは別の場所で院内感染が発生し、従前のコロナ病床もそのまま運用した場合

3階東病棟 (県から依頼を受け病床を確保した病棟)



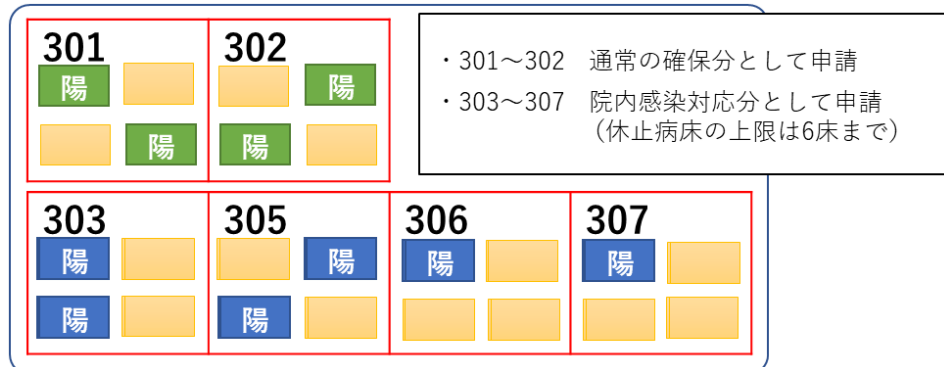
	コロナ陽性患者の対応をした病床
	県から依頼を受け確保した病床
	コロナ対応のため休止した病床 (診療報酬が発生していない病床)
陽	陽性患者

4階西病棟 (院内感染が発生した病棟)



(2) 病床を確保している病棟で院内感染に対応した場合

3階東病棟 (県から依頼を受け病床を確保した病棟)



☆2 ☆1以外の医療機関

4階西病棟 (院内感染が発生した病棟)



[補助対象範囲の例] ※前ページからの続き

☆3 病床状況報告書への反映

(院内感染対応期間における「即応病床」「休床」の考え方)

[即応病床とは] ・コロナ陽性患者の対応をしている病床 (下記「●」の病床)
 ・コロナ陽性患者の退院後、同室に他の陽性患者がいるため空床にする必要がある病床 (下記「空床」の病床)

[休止病床とは] ・病棟の閉鎖のために休止した病床
 ・コロナ対応で多床室を個室化するために休止した病床
 ・コロナ対応の人員を確保するために休止した病床 等

補助対象期間

		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
A号室	①	●	●	●	空床	空床	休床	休床
	②	●	●	●	●	空床	休床	休床
	③	●	●	●	●	●	休床	休床
	④	休床	休床	休床	休床	休床	休床	休床
B号室	⑤	●	●	●	●	●	●	○
	⑥	●	●	●	●	空床	空床	休床
	⑦	休床	●	●	●	●	空床	休床
	⑧	休床	休床	休床	休床	休床	休床	休床
C号室	⑨	●	休床	休床	休床	休床	休床	休床
	⑩	休床	休床	休床	休床	休床	休床	休床
	⑪	○	○	○	○	○	○	○
	⑫	休床	休床	休床	休床	休床	休床	休床

●：陽性患者が入院中 (退院当日含)、○：他疾患患者、コロナ療養解除後の患者

☆1、☆2、及び上記の考え方をもとに、補助対象となる病床の使用状況 (上記の例の場合、A・B号室の状況) を病床状況報告書に記載してください。

種別	病床の分類		病床数及び入院者数推移						
			●月						
			1	2	3	4	5	6	
その他 病床	稼働 病床	即応病床 (A)	病床数	6	6	6	6	6	3
		総入院患者数 (B)	入院者数	6	6	6	5	3	1
		うち新型コロナ関連患者数	入院者数	6	6	6	5	3	1
		うちその他患者数	入院者数	0	0	0	0	0	0
	空き病床数 (A-B)	病床数	0	0	0	1	3	2	
	休止 病床	病棟閉鎖のため休止	病床数	5	5	5	5	5	3

※赤字部分は自動計算